

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	桂川ウェルネスパーク	所管課	都市計画課
所在地	大月市富浜町鳥沢8438	設置年月日 (改築年月日等)	平成19年
管理方式	指定管理者(アメニス山梨(桂川)グループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②農林業の体験の場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	・西ゾーン 里山交流館、交流広場、遊びの庭、菜園、体験の庭、駐車場 ・中央ゾーン 農業見本園、里山体験棟、子供広場、平坦広場、運動広場、ドッグラン、吊り橋 ・東ゾーン 棚田、四阿、ピクニック広場、バーベキュー場、散策路、駐車場		
主な業務内容	① 施設・備品の管理運営業務 ② 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ③ 農林業の体験を提供		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	44,256	40,584	66,557	
	有料施設利用者数	874	4,715	7,316	
	利用者数合計	44,256	40,584	66,557	
	目標値			45,000	64,000
	目標値設定の考え方			開園当初の入場者数の回復を目標とする。	新しい施設の供用の予定がない為に、落ち込みを最小限に留める。
	対19年度比	100.0%	91.7%	150.4%	144.6%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	117,620	80,000	208,750	90,000
	指定管理者委託料		57,984,000	57,984,000	57,644,000
	その他				
	収入合計(A)	117,620	58,064,000	58,192,750	57,734,000
支出	人件費	5,524,636	16,222,000	21,173,580	16,222,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	23,591,166	41,842,000	37,245,624	41,512,000
	(うち外部委託費)(B)		26,851,000	23,931,488	11,292,000
	支出合計(C)	29,115,802	58,064,000	58,419,204	57,734,000
収支差額(A-C)		-28,998,182	0	-226,454	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	46.2%	41.0%	19.6%
利用者一人当りの経費		715	1,289	871	901

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、回答数: 811人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①良好な緑地環境の提供	88.4%	10.2%	0.8%	0.6%
②施設の清潔さの提供	91.9%	6.4%	1.6%	1.5%
③遊び、安全、安心感	86.9%	10.7%	1.0%	1.4%
④広報、利用、案内等	71.6%	22.4%	3.0%	3.0%
⑤スタッフの対応	83.6%	14.0%	0.5%	1.9%
⑥イベントの充実感	50.4%	32.3%	4.3%	13.0%
各項目の平均	78.8%	16.0%	1.9%	3.6%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 公園が新しいせいか、木陰など陽射しをさえぐいるものが欲しい。 ドッグランの開園時間を延ばして欲しい。 立派な公園をもっと宣伝したほうが良い。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> 陽射し除けのテントを4張り用意し、利用者の多い場所に設置した。 日照時間等を検討し、月別にドッグランの開園時間を設定した。 山梨県、大月市の広報紙への定期的寄稿、マスコミに対してのイベント情報紹介、取材協力また、ホームページ上にブログの開設など広報に努めた。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者導線を重点的に管理を行った。 ・草刈りを重点的に、直営スタッフで対応、利用者評価を得ている。 ・芝生管理方法に提案や工夫を行い、満足のゆく景観管理、環境を提供できた。 	施設の日常・定期点検を確実に実施することによって、補修箇所を的確に把握して計画的に修繕を実施した。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・各運営マニュアルに基づき、適正に業務を執行した。 ・マニュアル通りに運営が行かない場合は、原則は変えずに柔軟に対応を行った。 ・利用者ニーズに対応するよう、スタッフで打合せて、利用者から評価を得た。 	公園の特色を生かした、農林業体験の場を様々なイベントを通して提供し、利用促進を図った。農園管理も徹底し、季節によるイベントを企画・実行したことは評価できる。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度は、利用者ニーズの収集に努め、どの様な傾向があるのか検討を行った。 	指定管理初年度ということで、利用者の状況を確認しながら次年度以降実施できるよう準備を進めていた。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が前年度対比50%増となり、計画を大きく上回る成果となった。 ・ホームページやマスコミ、地域団体への広報活動をとおして利用者拡大に努めた。 	ホームページ等の広報活動の強化や中央ゾーンの供用開始等が利用人数の増加につながった。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りなどの植物管理を一部、直営で行ったため人件費が増大した。 ・光熱水費の節約、上記委託費の節減に努め、支出を抑えた。 	経費節減に努めたが、草刈りなど植栽管理の強化のため、直営による対応を行ったため、支出が増加した。
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して集うことができる環境を整えるという観点を心掛けた。 ・利用促進事業は当初認知度が低かったが、次第に浸透し始めた。 	施設の管理の徹底や利用者への親切な対応が満足度に反映されている。
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <p>入園者数 目標値 45,000人 → 実績値 66,557人</p> <p>有料施設利用者数 目標値 4,700人 → 実績値 7,316人</p> <p>入園者数、有料施設利用者数ともに目標値を上回り、目標を達成できた。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>指定管理1年目ということで、しっかりとした基盤固めから始めた年であったが、事業計画書の通りに実行した。利用者満足度調査等でもその成果は表われている。今後は、各業務の質の向上に期待する。開園からの年月が浅いため、積極的に広報を行うこと。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>山梨県、大月市の広報紙への定期的寄稿、マスコミに対してのイベント情報紹介、取材協力また、ホームページ上にブログの開設など広報に努めた。</p>	

7. 管理体制(組織図)

